

IAUD Newsletter vol.10 第9号(2017年12月号)

1. 住空間 PJ IAUD 住宅学生コンペ開催報告1
2. 移動空間 PJ・メディアの UDPJ 合同イベント「Web・アプリとカラーUD」開催報告4
3. 「IAUD アワード2017」特別推薦制度のご案内6
4. IAUD 12月の予定 7



これからの日本の住宅を考えよう

活動報告:住空間 PJ IAUD 住宅学生コンペ

「UD プラスの家～『ゼロからつくる日本の住まい』を考える～」開催

誰もが心豊かに暮らせる住空間づくりを目標に、「UD プラス」の考えを推進している住空間プロジェクトは、学生の皆さんにフレッシュで斬新な住まいと暮らし方の提案を募る IAUD 住宅学生コンペ「UD プラスの家～『ゼロからつくる日本の住まい』を考える～」を初めて開催しました。

日本全国の熱心な学生から応募があり、審査委員による厳正な審査の結果、「グランプリ」対象なし、「入賞」2件、「佳作」2件を選定しました

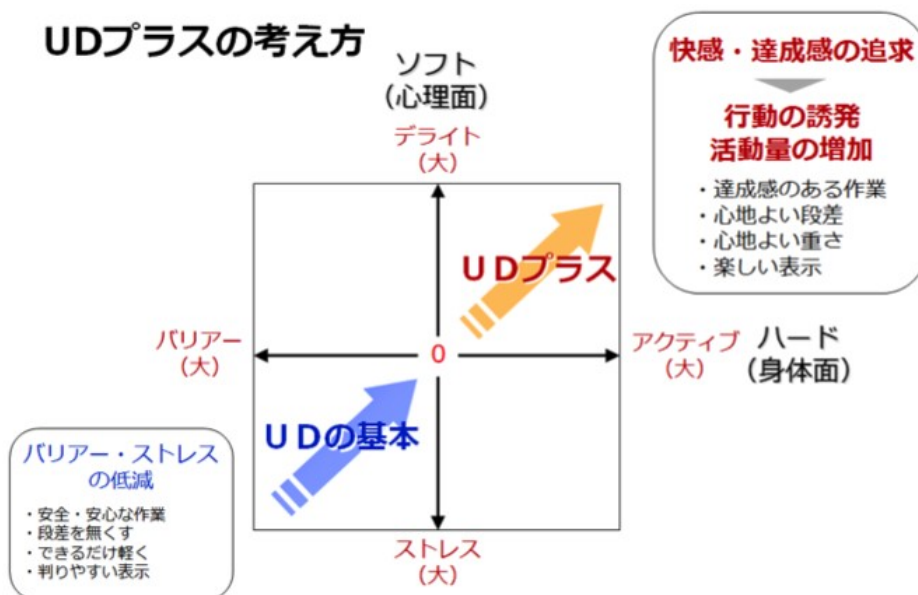
今号の Newsletter では、学生コンペ開催の経緯を同 PJ 主査の宮脇伸歩氏が報告します。

「UD プラス」を推進

住空間 PJ では、誰もが心豊かに暮らせる住空間づくりを目標に、様々な視点から「楽しい UD」の実現を目指しています。

そのひとつとして、UD の基本である「身体的・心理的なストレスのない状態を目指す」ことだけに留まらず、「身体的、心理的に適正な負荷(刺激)を与えることで機能の低下を防ぎ向上させる」など $+\alpha$ の発想を加えることで、さらに快適で達成感がある暮らしを実現することを目指した「UD プラス」の考えを推進しています。

UDプラスの考え方



「これからの日本の住宅」を若い世代が考える

これまでの活動の中で、東日本大震災後の 2012 年には東北の仮設住宅を視察し、高齢化や世帯数の減少のもとでの、コミュニティの大切さや住戸計画の重要性など、日本が抱えているこれからの課題が山積していることを実感しました。

その後、2014 年 11 月に開催された「第 5 回国際 UD 会議 2014 in 福島&東京」でのワークショップをきっかけとして、2020 年以降を視野に、「これからの日本の住宅を考える」ことを活動のテーマとしました。

自然と向き合いながら暮らす日本では、災害はすぐ隣にあるものです。これは普段はあまり意識しないのですが、災害によって突然住まいを無くしたら、どのようにして「暮らし」を取り戻していくか考えておくことは重要です。

そこで、初めて IAUD 住宅学生コンペ「UD プラスの家～『ゼロからつくる日本の住まい』を考える～」を実施し、学生の皆さんの UD プラスの発想による「ゼロからつくる日本の住まい」についてのアイデアを募ることにしました。

「これからの日本の住宅を担う若い皆さん」が「これからの日本の住宅」をどのように捉え、どのように住まいを変化させ、遊びがある暮らしを実現したいと感じているのかを知りたい、という思いからです。

2017 年 7 月に IAUD のサイト上で募集し、従来の制約にとらわれないフレッシュで斬新な住まいと暮らし方の提案を期待したところ、全国から応募がありました。

※コンペの募集要項は以下のサイトでご確認ください。

<https://www.iaud.net/activity/9039/>

全国から真摯な取り組みが集まる

UD プラスの趣旨に沿っていることを前提に、UD の専門家と住空間PJメンバーからなる審査委員による厳正な審査の後、11 月 20 日(月)に IAUD サイト上で結果発表を行いました。

結果は「グランプリ」対象なし、「入賞」2 件、「佳作」2 件を選定しました。

私共の準備不足や募集のタイミングの悪さから多くの応募をいただくことができなかったのはとても残念ですが、全国から真摯な取り組みが寄せられたことはとてもうれしい事でした。

また、今回はグランプリの該当なしとなり、当初の目的を十分果たせていない状況であることも事実です。

審査結果及び審査委員の総評は次頁のとおりです。



審査会の様子(東京・IAUD サロン)

IAUD 住宅学生コンペ 結果発表

■グランプリ

該当なし

■入賞 2点

- ・日本大学 理工学部建築学科 高須 信博
「街の小さな拠り所」
- ・静岡文化芸術大学大学院 藤井 邦光
「呼吸をする家」

■佳作 2点

- ・九州大学大学院 人間環境学府 河村 悠希／首都大学東京 丹野 将太
「変化する家」
- ・新潟大学大学院 中津川 銀司
「膜のある屋根上の居場所」

※各受賞作品の紹介及び審査委員の講評は下記リンクをご参照ください。

<https://www.iaud.net/activity/9371/>

審査委員長の講評:古瀬 敏(静岡文化芸術大学名誉教授)

今回のコンペは初めてのことであり、主催者側の準備に手間取ってしまい、開催の告知が予定していたよりずっと遅れ、結果として応募者に十分な時間を与えられなかった。

このため、求められている内容を手探りで考え、時間に追われながらそれぞれの提案をまとめるよう強いることになったのは申し訳なかった。

そうした制約の中で応募してくれた学生の方々にお礼申し上げる。

UD+、つまりUDを超えた何がこれから必要なのか。住宅にとってUDの基本(出発点)は、もちろん想定される居住者を排除しないことだが、それ以上、と問われたときにプラスαをどう捉え、どれに優先順位を与えるのか、きちんとしたメッセージの発信が必要である。

今回の応募案はその点がややあいまいだったように思われた。

審査副委員長の講評:後藤 義明(岡山理科大学教授)

応募総数は少なかったのだが、よく考えられ、表現力にあふれた作品が多くみられた。

UD+のプラス部分の解釈は非常に困難である。それ以前にUDを理解することも難しいといえる。車いすに乗って生活できればUD、という風潮もあるがそうではないだろう。誰もが、いつまでも快適に住み続けることができる住宅が望まれる。

それに加えて、どのようにすると楽しく安心して生活できるかが今回のコンペの主題である。実現性は考慮せずに、楽しい生活が見えてくるものが高評価を得た。

UDはゴールのない営みともいわれる。これからも普通の人々が楽しく安心して暮らせる空間づくりを考え続けてほしい。

「IAUD 住宅学生コンペ」来年度も実施検討

今回は初めての開催で、先にも言いました通り準備不足や募集の時期、告知などが十分でなく、募集数が少なかったことが反省の第1です。

来年度も学生の皆さんからさらに深いアイデアを募集し、これからの日本の住宅について、研究を進めていきたいと考えます。

皆様のご理解とご支援をこれからもどうぞよろしくお願いします。（了）



カラーUDを当事者、専門家、デザイナーと考える 活動報告：移動空間PJ・メディアのUDPJ 合同イベント 「Web・アプリとカラーユニバーサルデザイン」開催



満員となった「Web・アプリとカラーUD」会場の様子

移動空間プロジェクトとメディアのUDプロジェクトは、11月9日（木）にサイボウズ（株）東京オフィス（東京：日本橋）で、NPO カラーユニバーサルデザイン機構（以下 CUDO）との合同イベント「Web・アプリとカラーユニバーサルデザイン（以下 CUD）」を開催しました。

このイベントは、Web・アプリのデザイナーにCUDについてもっと理解してもらうために企画されたもので、当日はIAUD研究部会のメンバーの他、Web・アプリデザイナーやエンジニア、アプリ企業関係者、企業のWeb担当者など50人が参加し、活発な意見交換も行われ大変有意義な内容となりました。

今号のNewsletterでは、当日の様子を移動空間PJとメディアのUDPJが報告します。

CUDをWeb・アプリのデザイナーに知ってもらう

Webサイトやアプリ開発において、色の選択はデザインの品質に関わる重要な要素です。

Webの分野にはJIS規格等のガイドラインがありますが、そこには背景とテキストのコントラストを高める旨の記載はあるものの、色覚ごとの色の配置には言及されていない状態です。

最低限の部分はカバーされているものの、発展的な内容を理解する者は少ないと言えます。

また、実際に当事者がどのような課題に遭遇しているかを聞く機会も同じく少ない状況です。

そこで、Web・アプリのデザイナーに CUD を伝えるため、当事者と専門家、デザイナーが対話していく形のイベントを開催しました。

このイベント開催のため、移動空間 PJ とメディアの UDPJ、CUDO はネット上での打ち合わせを重ねて念入りに準備してきました。

CUD に取り組むメリットと事例紹介

まずは、メディアの UDPJ 主査である伊賀公一氏が「CUD 色覚の多様性に対応するデザイン」について話しました。

当事者（P 型色覚）でもある伊賀氏は、まずは色の認知の基礎や CUD の基礎、世の中の動き、標準色覚型ではない人の見え方など CUD について説明した後、Web サイト制作やアプリ開発において CUD に取り組むメリットについて話しました。

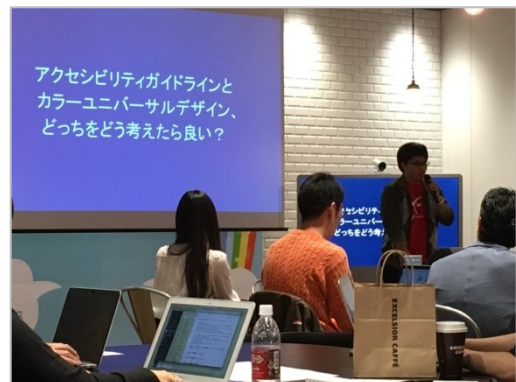
また、移動空間 PJ メンバーの伊原力也氏は、「WCAG2.0/2.1 と CUD の整理、スクリーンメディアにおける CUD」について説明しました。

その後、サービス提供側 3 社（サイバーエージェント、サイボウズ、ChatWork）のデザイナーから、デジタルサイネージやウェアラブル端末など様々なデバイスの紹介や、デバイスが多様化する中で CUD に取り組む方法について解説がありました。

最後に、参加者間でのディスカッションや登壇者との質疑応答が行われました。

CUD も数値化して判定できる部分がある、というのが新たな発見でした。

また、Web・アプリ側の人間からすると、そういった解決策があればテストの自動化などを行えるため、Web・アプリにおける CUD を身近なものにしていけるのでは、と感じました。



講演する移動空間 PJ メンバー伊原氏

今後も横断的な視点によるイベント開催へ

今回は、専門家・障害当事者・ベンダーの 3 者が揃い、かつ Web・アプリ系とプロダクト系の聴講者が集まるという、なかなか例を見ないイベントになったと考えています。

今後はこういった横断的な視点による協調が必須となってくるため、移動空間 PJ とメディアの UDPJ はより具体的なテーマを選定し、引き続きこのような機会を企画していきたいと思えます。どうぞご期待下さい。



参加者間でのディスカッションの様子

当日の登壇者の発表資料のリンクは以下のとおりです。

- ・CUD 色覚の多様性に対応するデザイン(メディアの UDPJ 主査、CUDO 伊賀 公一)
https://scrapbox.io/cud/CUD_Web
- ・ロービジョンと色(Cocktailz 伊敷 政英)
https://docs.google.com/presentation/d/14ZcYZC7Fq2IDnUPoUGErKwQ113wV5KWvyn_TmoDEiRc/edit?usp=sharing
- ・WCAG2.0 / 2.1 と CUD の整理、スクリーンメディアにおける CUD
(移動空間 PJ メンバー、freee 伊原 力也)
<https://docs.google.com/presentation/d/17EWdYNvf1uyei6EpGtCh2KriFCST6uWG5HKmHPdNq-g/edit?usp=sharing>
- ・kintone とカラーユニバーサルデザイン(サイボウズ 小林 大輔)
<https://www.slideshare.net/KobayashiDaisuke1/kintone-81743095>
- ・ChatWork と色設計(ChatWork 守谷 絵美)
https://docs.google.com/presentation/d/1t9Ips4bhV87MReuEW7h3cXHQJIGzi_8XXmWoliks_w3s/edit?usp=sharing
- ・FRESH!におけるカラーユニバーサルデザインへの寄り添い方
(サイバーエージェント 木村 直道)
<https://www.slideshare.net/ssuserc656b4/fresh-81836272>

※当日の様子はこちらで映像配信も行っています。どうぞご覧ください。

<https://freshlive.tv/tech-conference/166044>



プレゼンテーションをドイツ・ミュンヘンで実施 締め切り間近！IAUD アワード 2017 特別推薦制度

IAUD は、ドイツ・ミュンヘンで 2018 年 3 月 3 日(土)から 11 日(日)に開催される「ミュンヘン・クリエイティブ・ビジネス・ウィーク(MCBW)」において、「日本の UD 展」企画展示と「IAUD アワード 2017」の発表会及びプレゼンテーションを実施します。

つきましては、アワード特別推薦人による特別推薦制度を新たに策定しました。

アワード特別推薦人は「IAUD 会員」または「UD 検定資格保持者」で、この特別推薦制度を活用すれば、第 1 次審査を省略して第 2 次審査へと進むことができます。

締め切りは 12 月 15 日(金)です。皆さまの応募をお待ちしております。

※詳細はこちらのリンクをご覧ください。

<https://www.iaud.net/award/9283/>



「IAUD アワード 2016」プレゼンテーション
(名古屋国際会議場)

月	火	水	木	金	土	日
				1 13:00～ 手話用語 SWG @IAUD サロン	2	3
4 14:00～ 移動空間 PJ @IAUD サロン	5	6	7	8	9	10
11 13:30～ 余暇の UDPJ @IAUD サロン	12	13	14	15 13:30～ 標準化研究 WG @IAUD サロン IAUD アワード 特別推薦制度 締め切り	16	17
18 17:00～ 運営委員会 @IAUD サロン	19	20 10:00～ ワークスタイル PJ @IAUD サロン	21 10:00～ 住空間 PJ 14:00～ 衣の UDPJ @IAUD サロン	22	23	24
25	26	27	28	29 事務局・サロン 年末年始休業←	30	31

事務局と IAUD サロンは、2017 年 12 月 29 日(金)から 2018 年 1 月 4 日(木)まで年末年始休業となります。

次号は 2018 年 1 月発行予定

特集:「ジャパンシルバーEXPO2017」IAUD セミナー開催報告 他

IAUD 情報交流センター(IAUD サロン):

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-25-9 トヨタ八丁堀ビル 4 階
電話:03-5541-5846 FAX:03-5541-5847 e-mail:info@iaud.net